

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
1	この条例の成果を上げるためには、「市民が一人でも多く、自分のことなんだ！」という意識を持ってくださるよう、何度でも何度でもアピールしていくことが不可欠だと思います。	1
2	市の偉い人たちが独自に決めてしまうのではなく、市民の意見に重点をおいて決めていただけるのは、とてもいいことだと思いました。勝手に決められてしまえば不満もあると思いますが、 <u>自分たちの意見を出すことが出来れば納得のいく結果となる</u> と思います。 ↑もっと機会があるといい！	1
3	・市民会議の皆さんが市民の声を汲み取ろうと、まちへ出たこと。←大事だなと思いました。 ・ <u>市民会議は年1回、どんな規模ですか？</u> ←もっとふえたらいいな！	1
4	市民一人一人が考え、行動(実践)していく。 静岡市の条例案をじっくり読んでみたいと思った。 今、考え行動した結果が未来の幸せにつながっていくと感じた。 住んでいる市の条例を知らない、他の市の条例と比べることができないので、何ともいえませんが、自分で考えることの大切さは共通だと思いました。	1
5	サー やらザー やらまいかで、焼津が輝くぞ！！ シンクタンク、市職員の知恵と情熱を期待	1
6	・市民、議会、市(行政) それぞれバラバラでまちづくりを進めてもしょうがない。 <u>みんなで手を取り合い、「つながり」を作ることが大切なこと</u> だと思う。 ・将来の子どもたちが幸せになれるような一文をPI活動の後に加えたことは、素晴らしいことだと思いました。	1
7	①「市民自治」 →行政、議会、市民の役割の再定義(再構築)(意識転換)が必要な時代、その始まりになる、と大いに期待 →(補完性の原則) ②(p7、2行目 予算等→予算・決算等) ③「こども」項目！！(シティズンシップ教育)	1
8	条例として制定されて、 <u>市民1人1人</u> に知ってもらい、定着してもらいたい。(市民委員としての希望)	1
9	市民の中に「事業所」という位置付け、商店街と関わると、そこに「利潤」が発生するので、事業所とまちづくりをつなぐクッションのようなものの必要性を思った。いきなりはむずかしい。時間をかけてゆっくりと。	2
10	松下先生が「事業者」がとりあげられていることを評価して下さったことがうれしかったです。	2
11	松下教授の最後の方の話で、市民会議の人達は市民から選ばれた人ではないという言葉が印象的でした。	2
12	市長が <u>市政座談会</u> をもうけて市民との対話を重視する取り組みをされているように、市民が参加しやすい街であるということが、一番心に残りました。	2
13	地震・津波等に対する安心の備えについて。実際の災害時にどのような行動をとるのが大切！ 大学に入学してから、友達と焼津の町を探検するようなかたちでいろいろとまわったのですが、その時に思ったことで、ちょっと道がせまいかな？とか、いろいろ思いました。	2
14	話がむずかしくて良くわからなかったけど、だれが町を作って行くか、焼津市の住民ってことでしたが、それをどのようにして行けば良いのかって言うのはわからないけど、子供達が外で遊べる場所やお年寄りがあつまって話をしたりできる場所があったら良いなと思いました。	2
15	子どもが尊重されること 次世代を担う子供たちが安全で安心して健やかに育つ環境の整備に努める。 健やかに育てる私たちの義務である。 →子供達が焼津を愛し、住み続けてほしい。	2
16	「自分たちで考え、実践すること」 <u>市民の意識</u>	3
17	地域の子どもたち？	3

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
18	議会の状況をインターネット等で知らせているというが、かねがね考えていることでもあり、多数の市民の声である有線放送を通じて、本会議、委員会の様子を公表すること、これが、市政に、市議会に市民が関心を持つ1つになると思う。 議員と市民の対話をする。公民館等で集会をもって意見交換をすること	3
19	市民一人ひとりが自分達のまちをつくりあげることが災害時の地域防災の考え方そのものであると考えます。	3
20	基本条例の活用(生かす)方法 地震、高齢化に依る人口流出、減少への心配	3
21	自治のしくみ 自治の基本 「地縁コミュニティ」、「目的によるコミュニティ」～“大事” 市民の定義に“事業者”この独自性に納得	3
22	・とても良い自治基本条例案だとは思いますが。 ・これから市民全体に広め、活動していける事が大切。 ・自治会役員、町内会の役員さんへの勉強、理解。 ・関心がない人への勉強、理解	3
23	市民・議会・市の三者共同 (自助・共助)	4
24	(一人暮らしのお年寄り)家に閉じこもりのない用、お年寄りなどいつでもいける場所 同じような活動をしている方々と課題の共有と対策、工夫を一緒に考えたい。	4
25	好きになる街作り ・手をつなぎ作る未来の街作り ・地震、津波で人口減少への対策	4
26	市民会議～地震、津波に対する対策については基本的な考え方が記載されているが、原発の事故に対する考えがないのが疑問ですので対策に入れた方が良い。 ～市民会議を開催して、市民の課題についての話し合いを行う。 議会～インターネットで議会の様子を情報発信の準備をしている。 市長～(現場主義を徹底する) 市政座談会を実施しているのが良い。	4
27	市民の為に自治基本条例を市政に取り入れて下さるとのこと。明るく住みよい安心できる町作りをして下さい。 より多くの人の声をきく努力	4
28	それぞれの立場の方々が、この自治基本条例を生きたものとして活用しなければいけないと認識したこと。更に代表である市長、議員さんの心意気を感じ取ることができたこと。	4
29	自治会等の地縁で結び付くコミュニティの必要性を感じる	5
30	市民・議会・市役所だけでなく、市民にも権利が言及する点、 <u>コミュニティの再編をめざしている。</u>	5
31	地震・津波の危機感による人口減少を食い止める。安心感と安全性のうたえ方→PR法	5
32	「連携というもの聞いていい」地域住民同士の共通理解。お互いが何を求めているのか、何を感じているのか、何をよいと思っているのか、といったことを知るべき。知らないこと、知っていることを調べる。そのためには何をしていくか手段・方法を考えていく。	5
33	自治基本条例がよくわからなくて、今回、解説で少し理解できたかな？	5
34	市民・議会・市役所 三者の共同経営者として協力し合うことがだいじ。	5
35	税金の使い方	5
36	市をみんなで良くしていくという基本的な出発点がよいという話に興味をもった	6
37	・まちづくりの主体は市民 ・チームの一員	6
38	これから具体的にどうしたらいいのか？	6

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
39	市役所・議会・市民が同じ方向をむいてというのは大事なこと。 “子育て”のしやすいこと、かつ、のびのび生活しやすい街づくりは、ひいては市民全体の生活を大事に出来る街になると思います。	6
40	協働の原則について 市民も市職員も理解していないのでは？	6
41	30～40代の方達をもっと興味をもって参加してみたい環境づくりが必要になる気がします。	6
42	自助が第1でできてなければ共助はできない	6
43	市民会議のお二人の真摯な発表が素晴らしかったと思います。内容もとても先進的でびっくりしました。	7
44	役所や議会に任せるのではなく、市民が自分で考えて良くするためのよいきっかけになっていると思います。ただ、市民も賢くなる必要があると思います。	7
45	市民一人一人が考えて行動することが大事	7
46	(市民が主体) 自分たちのことは、行政がやってくれるのを待つのではなく、まず自分達で考える	7
47	市民が行政、議会と同じ舞台上に上ることになりました。自分達の持つ議題をこの条例に基づいてどのように提示し、図っていったらよいかと考えています。	7
48	これからが大事	7
49	第6 自治のしくみ 市民個人としていかに参加をしていくか、その方向はどうかに努めたいものです。 個人の考え方、能力は大差ないだろうから関心を持つことが大事。	8
50	議員と市民が、一緒になって議論できる場をこしらえ、政策提言がより多くできるようにして行きたい	8
51	市民一人一人がこの町を好きになり、自らが住みやすい町づくりを実践していく。 皆がHappyになるための一歩。 他力本願ではなく… 松下教授の説明は非常にわかりやすかったです。	8
52	市民、議会、行政(、NPO等)の相互理解が重要	8
53	・松本議員の議会改革 議会の見える化、評価の実施 ・市政の報告会を行い、情報の共有化を図る ・自治会のあり方、かかわり方をもっと明確にして欲しい。	8
54	市民1人1人が焼津のことを好きになり、地域のことを考えていくことが自治であるが、好きになるきっかけみたいなものが少ないと思う。 学校教育に力を入れたり、地元のお祭りや地域の活動に若者が積極的に参加する町づくり活動が必要ではないかと思う。	8
55	(市長)発言より 市民会議(案)に共感されたといわれ、市民メンバーとして感謝している。 (議会)発言より 議会の見える化は一歩前進。よかったと思う。	8
56	市民が参加するまちづくりのためには、市民が焼津市を好きになる必要があると思います。今、焼津市に興味のない市民に、焼津市を好きになってもらえるとよいですね。	9
57	合意形成について 説明された通りだと思います。しかし、その合意形成を得るプロセスが説明にない。会議の人数はどんなに多くても良いのか。適正な人数(会議を進める為に)は？	9
58	子供のためのまちづくり 焼津市の良い所を引きだすまちづくり 地震、津波につよいまちづくり	9
59	まちづくりを多数決でなく、“市民同士による対話の末の合意”と規定したのには恐れ入ります。条例に記されないといけない今の社会は若干悲しいかなと思います。	9

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
60	地縁によるコミュニティの活動に関する考え方を条例案に盛り込んでいる点が特に良いと思った。今後コミュニティの活動を大切にしていくことが市民の自発的な行動・まちづくりにつながると思う。	9
61	(子どもが尊重されること) PIを経て追加。焼津の未来のための条例を表す	9
62	私自身、市民の一人として、これからの焼津をLOVE焼津にしていきたいための意見をもつ事の大切さを痛感しました。	10
63	議会改革の取り組みについて(現状&今後のあり方を詳細の説明が欲しい)	10
64	市民の一人として何ができるのかな(市職員としても) 地域の中でのご近所同士のつながりが広がっていくと、自助、共助が良い形になっていくのでは	10
65	「市役所」へ頼っている、誰かがしてくれるという思いを持っている中で作られた、「市」を「市民」で作って行く条例が作られたことを、どの年代にも分かるように、発信していく事が必要ではないか。 「市民」の定義を、焼津市に住んでいる人だけでなく、焼津市とかかわり合っている人とした点は良いなあと感じました。 ※事業者のかかわり	10
66	市民が主役である条例なんだと感じ、市民も発言しやすくなる=いい焼津市になると思いました。 このまま活動を頑張してほしいと感じました。	10
67	「自分たちで考え、実践する」ためには財源が欠かせないと思います。税金を地区ごとに自由に使えるような仕組みも必要ではないでしょうか。 「自治とは、自分たちで考え、実践すること」と「市民会議案の提出にあたって」の冒頭に書かれていますが、自然発生的にそうしたエネルギーが出てくるとは思えないのですが…。たとえば「考え、実践する」練習の場が必要と思います。たとえば極論ですが、市議会の下部組織として、自治会議会とか町内会議会をつくるとか。	10
68	P17 その他の災害等における対応 被災地では、ひなん所で女性が色々苦勞したという話を聞きます。そうならないよう、日頃から防災に女性がかかわっていく必要あり！	11
69	今後、条例が制定されたら、一般市民から「自治基本条例って何」と聞かれた時に、何と説明したら良いか、わかりやすい説明がむずかしい。	11
70	「協働」皆が歩み寄り、より良い物を造り上げようとする姿勢に感銘を受けました(共感を覚えました)。皆の意識を高めて全国にも誇れる文化の街、焼津市になる予感がしています。	11
71	皆さん、いろいろな立場で、よりよいまちづくりができるように考えているのだなあと感心しました。 それで、一市民としては、どうしたらいいの？ということが正直な実感です。	11
72	市役所の職員に何もかもと思いがりましたが、地域のことは自分達で考えて、少しでも住み良い地域にという思いがしました。	11
73	PI活動がスゴイ！！ 32回、1,285人、2,050意見の聴取	11
74	公募委員さんは代表じゃないよ。代表は市長と議員だよ 完成形がない。いつも見直し、少しでも前へ！！	11
75	自治に対する住民の役割、参加について明文化された事が大変良い事だと思います。参加の仕組として大きな役割を担う事は大変な事だと思います。又、住民の意思を確認する上でも住民投票(法的拘束力は問わない)などの仕組についても今後検討すると良いかと思いました。	12
76	条例とは？ 良く耳にするが、市民から引き上げられた声を姿勢にそして市民生活に活かせるもの一と悟る。	12
77	市民主体、市民が主役という点をそれぞれの立場でも大切なことだと確認できたこと。	12

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
78	島田市は5月の市長・議会選挙で状況が変わり、最初の6月議会には多くの市民の方が傍聴にこられ、市政への関心の高まりを感じました。市民が市政に関心を持ち、まちづくりに積極的に参加しようとする気持ちが続くように、議会としても情報発信、提案をしていかなければと思っています。そんな意味で、今日のワールドカフェの話を参考にしていきたい。	12
79	地縁によるコミュニティ	12
80	協働のところで「人材の発掘」について説明があった。発掘した後にその人が活躍できる場をいかに作って行くか。それによって協働の輪が広がっていくのではないかと思う。	12
81	〔13班のまとめメモ〕 ①市民の対話を大切にする市民会議は素晴らしいが、今後出てきた意見を具現化するアクションプラン(重要になってくる)が見えてこなかった。 ②次世代を担う子どもの教育は重要。家庭教育、子育て支援を充実させていく必要がある。 ③高齢者に優しい福祉も重要	13
82	・専門委員が必要となるという事とは、積極的に行ってほしいと思います。 ・福祉関係の仕事を、もっと積極的に行ってほしいと思う。	13
83	・自分がだんだん年を取り、将来自動車にのれないので不安がある。 ・ごみ置き場がなくて道の横に置いてあり、カラスに荒らされて困る。	13
84	・市民との対話 ・市民ー通勤・通学する人を含む ・市民の自律性、主体性 ・市民との協働 ・市民の主体性を保障する仕組みづくりが大切だと思います。 ・自治会の力を付けたい。	13
85	次世代を担う子どもたちの教育にもっと関心を寄せましょう はじめて参加させていただきましたが、これまでの市民参加型の積み上げに敬意を表します。「継続」が課題?	13
86	この条例は、市民が考え、行動する、全国的にも少数派ということですが、生かすために市民がどういうふうアクションを起こすのか、最初のとっかかりがはっきりつかめない。	13
87	自治基本条例ができてからの問題 ・子育て支援 ・障がい・高齢者福祉 ・「地域を担う子供」を育てる ための具体的実現案に特に興味があります。	13
88	「LOVE焼津」ここに住み始めて45年位が過ぎましたが、住めば都で好きです。焼津市自治基本条例のことがよくわかりました。場違いと思っていましたが、理解出来て良かったです。 豊田地区は子供の数がふえています。子供の声が元気をくれます。	14
89	市民会議を年一回以上開催 市議会の条例+まちづくりの条例 →パワーUP? 市民・地域の提案の場、情報共有の場をつくり、市民が参加できるまちづくりにしてほしい	14
90	市長さんの市政運営について 情報は市民のもの。これを適正に管理し、市民に公開することを原則にするとのこと。これから適切、迅速に公開提供されることを望みます。	14
91	まちづくり→住みやすいまちに加えて、 個人的に活性化させ、人口流出を防ぐということが、今後の大きな課題であると思いました。市民の協力も必要だが、他の市、県のサポーター(6ページ)にPRしていくことが肝要であると思います。インターネットを通じた議会の可視化などの情報共有を行う反面、 <u>情報流出などのセキュリティ面も気をつけてほしい</u> と思います。	14
92	文化ができるまで時間がかかると思われる。それまで市が健全に運営できるか危惧される	14

焼津市自治基本条例 大ワールドカフェ(H25.9.15)

話題カード「市民会議・議会・市長からの報告を聞いて一番心に残ったこと、考えたこと

No.	内容	班
93	「自分達のことは自分達でやっていく」主体的に住みよいまちづくりを進めていくことの重要性を再確認した。	14
94	条例と法律の関係？ 条例も県にもあり関係？ 焼津的に良い件、どんどん魅力にする事	15
95	情報の管理などについて 情報化社会の中で必要であるが、適切に活用していくべき。	15
96	自助&互助	15
97	人口流入をすすめている 自助 共助	15
98	自分達で作っていく街作り 住民、市民、事業者 →考える、話す、動く	15
99	継続するために、成文とする	15
100	議案に対する賛否判断を明らかにして、情報公開をしていく。	16
101	新しい行政へのコミットの形が条例の中に感じられ、良いと思えました。	16
102	職員は、市民との対話を大切にし、市民の求めに応じて、市民にわかりやすく説明します。ということに肝に命じ、職務を行っていきたい。	16
103	誰が町を作るのかの定義について、焼津に住んでいる人だけでなく通勤、通学している人達も一緒に作っていく、という意見が心に残りました。	16
104	市長さんが自分の考えで話したのが良かったです。自分の住む町が好きで愛している	16